

## 【イベント案内】

### 箱根ビジターセンター

- 「野生動物写真コンテスト入賞作品展」  
期 間：平成25年11月21日(木)～12月24日(火)  
場 所：多目的ホール

### 県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 「ガイドウォーク」～ビジターセンタースタッフと一緒に自然の中へ出かけよう～  
＜旬の自然を楽しむガイドウォーク＞  
毎回いろいろなテーマで行います  
開催日時：毎月第1日曜13:30～14:30  
●12月1日：「クリスマスツリーの原点・自然のモミの木を見に行こう」  
●1月5日：「冬の鳥・カモをじっくり観察しよう」  
＜植物博士になろう＞  
節の植物を楽しみながら調べる参加型調査  
開催日時：毎月第2土曜13:30～14:30  
●11月9日 ●12月14日  
＜宮ヶ瀬の動物調査隊＞  
山麓にすむ動物を自動撮影カメラで調べる参加型調査  
＊4月～9月に撮影された野生動物：ニホンジカ・タヌキ・テンなど8種類！  
開催日時：毎月第3日曜13:30～15:00  
●10月20日 ●11月17日 ●12月15日  
＊上記すべて事前申し込み不要です



### 県立丹沢湖ビジターセンター

- 特別展「丹沢湖を見つめて～むしくさの会15年間の記録～」  
内 容：ガイドウォーク担当「むしくさの会」のスタッフが参加者とともに見てきた丹沢湖の自然を振り返ります。  
期 間：平成25年10月6日(土)～12月28日(土)

### 県立秦野ビジターセンター

- 特別展「丹沢・奥山と里山の生きもの画展」  
期 間：平成25年12月21日(土)～平成26年1月19日(日)  
内 容：動物や野鳥、野草などのイラストを通して、丹沢山麓と奥山の生きものを紹介。温かみのある作品をお楽しみください。  
場 所：秦野ビジターセンター 展示室  
申込み：不要（開館中はいつでもご覧いただけます）  
※入館無料  
協 力：泉 龍氏（命の輪・むすびの衆代表）  
神戸 宇孝氏（野鳥画家）  
鈴木 桜子氏（ボタニカルアーティスト）
- 自然教室「考えよう！自然にやさしい山歩き」  
内 容：登山道整備のプチボランティア体験！丹沢の自然や現状について登山しながら楽しくお伝えします。  
開催日：平成26年2月23日(日)9:15～16:00頃  
場 所：秦野ビジターセンターと大倉尾根一本松付近まで（標高差約490m）  
対 象：中学生以上25名＊中学生は保護者同伴  
＊応募者多数の場合抽選  
参加費：1人 1,500円（保険代込）  
協 力：NPO法人みろく山の会  
雨天時：多少プログラムを変更して実施  
申込方法：往復はがきに行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入し、秦野ビジターセンターまで  
締切り：（2月6日）必着

2013  
11・12月号  
No.107

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

# 神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

## 陣馬の紅葉

陣馬自然公園センター



紅葉と茶畑

陣馬山は四季折々色々な表情を楽しむことができる山です。

格別なのが秋の紅葉で、見頃は11月中旬から12月上旬頃です。陣馬自然公園センターから、木々の葉が赤や黄色

に色づきはじめた登山道を約1時間半歩くと山頂に着きます。

山頂から360度見渡す山々が広がるパノラマ、また、山麓に向かって燃えるように広がる鮮やかな紅葉、そして、何となく山頂から見渡す生藤山方面の斜面にある茶畑と融合する風景は、今年も登山者の目を惹き十分楽しませてくれることでしょう。日暮れが早くなるこの時期は、余裕を持った計画と行動で安全な登山を楽しみましょう。(森久保)



陣馬山直下の紅葉



ヌルデも秋の装い

## 自然公園へ出かけよう



### 県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15  
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162  
開館時間 9:00～16:30  
(1/4～2/28は16:00閉館)  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

### 県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513  
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311  
開館時間 9:00～16:30 (通年)  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

### 県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3  
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270  
開館時間 9:00～16:30  
(12/1～3/31は16:00閉館)  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

### 県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515  
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777  
開館時間 9:00～16:30  
(1/4～2/28は16:00閉館)  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakvc/>

### 県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9  
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940  
開館時間 8:30～16:30  
(12/1～3/31は16:00閉館)  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

### 環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日札場164  
Tel0460-84-9981  
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

休館日のお知らせ

県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)  
1～3月第2木曜日(祝日開館)  
年末年始(12/29～1/3)  
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、  
年末年始(12/28～1/1)

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当):sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

### 西丹沢の絶景ポイント

気温が下がりさわやかに山を歩ける季節がやってきました。丹沢は低山でも展望が楽しめる山があるのが魅力です。空気が澄んだ中を歩く清々しさも味わえるこの季節にぴったりの展望スポットをご紹介します。



大野山から丹沢湖方面

西丹沢の展望スポットといえば

大野山(723.1m)! 山頂から北側を見下ろせば山々に囲まれた丹沢湖を見ることができます。大野山は展望のよさだけでなく、山頂付近まで車で登れることでも人気の山です。

さらに本格的な登山を楽しみたいなら、檜洞丸(1,601m)はいかがでしょう。登山道の途中にある展望園地(約1,100m)からは西側の展望が開けています。

木々の間に富士山が見えることもあるので、ここを目的地にしてのんびり登るのもおすすめです。

檜洞丸の展望の見所をもう一つ挙げると、山頂から犬越路方面に5分ほど下った所です。見渡す限り連なる稜線を見ていると、山深い所まで登って来たことが実感できます。

晩秋から冬季は溶け出した霜柱で登山道がドロドロになったり落ち葉で足元が滑りやすいので注意が必要ですが、ぜひ一度晴れの日をねらって丹沢の山からの展望を楽しんでみてください。(櫛谷)

### 丹沢湖ビジターセンター



檜洞丸展望園地から富士山



檜洞丸山頂付近から犬越路方面

### 食欲の秋から、冬へ...

秋になると、食欲をそそる美味しい食べ物が沢山あって、つい食べ過ぎてしまいますよね! 山に暮らす動物たちにとっては、冬は食べ物が乏しくなるし、冬眠をする動物もいるので、なおさら沢山食べてエネルギーを蓄えなくてははいけません。



黄葉したブナの木

秋の山には、ドングリなど色々な木の実が実り、動物たちのご馳走となります。年によって豊作凶作がありますが、今年はブナが豊作のようで、表丹沢で実が鈴なりになったブナの木を何本も

見かけました。沢山食べて貯えて、もうすぐやってくる厳しい冬を無事乗り越えて欲しいものです。

丹沢を歩いていると、食べ物の少ない荒れた人工林も目立ちます。人工林の間伐等の整備を通し、丹沢の森が多様な木々の育つ、動物たちにとって暮らしやすい森であり続けて欲しいですね。

そんなことを考えながら、ぜひ晩秋から冬の丹沢を歩いてみてください。(柳沢)

### 秦野ビジターセンター



鈴なりのブナの実



ブナの実アップ

### 箱根の紅葉

### 箱根ビジターセンター

です。今年は少しだけ紅葉のスタートが遅れましたが、各所で素晴らしい景色を演出してくれています。

おすすめの撮影ポイントは、神山山頂付近から眺める冠ヶ岳と富士山のコラボレーションや宮ノ下の国道138号線沿いから眺める堂ヶ島溪谷でしょうか。

散策するなら、神山周辺は11月上旬から中旬にかけて、堂ヶ島溪谷は12月上旬から中旬がおススメです。落葉した色とりどりの葉っぱの絨毯に感動しながら



神山から見た冠ヶ岳の紅葉

箱根の紅葉前線は1カ月半ほどかけて、箱根の中央にそびえる神山(1,438m)から箱根湯本・小田原へと下っていきます。長く楽しめるのも箱根の紅葉の特徴

宮ノ下から見た堂ヶ島溪谷の紅葉

### 木道

木道。それは山で一番絵になる人工物ではないでしょうか。自然の中に人工物があると違和感を感じることがありますが、木道はちょっと違うように感じます。

山の中を歩いていると既に自然に溶け込み風景の一部になっている木道に出会うことがあります。その木道は決まって絶妙な曲線を描いています。一般的には直線的な木道をあえて曲線に設計した意図はわかりませんが、芸術的だと感じることが度々あります。

以前、尾瀬の木道を調べてみたことがあります。様々なタイプ、工夫があり、25種にも分類できることがわかりました。

登山に欠かせない登山道の階段や橋など設計した人の思い



大室山の木道(冬と秋)

を想像しながら見てみると新たな発見があるかもしれません。

写真は大室山の木道です。絶妙な曲線を描きながら、さらに絶妙なアップダウンがあります。とても個性的で魅力的な木道のひとつだと思います。(赤塚)

### 金色に輝くカラマツの林

### 宮ヶ瀬ビジターセンター

丹沢山塊の北部に姫次(ひめつぎ・ひめつぐ)というなだらかで開けた場所があります。ここは神奈川県最高峰の蛭ヶ岳(1,673m)を通る丹沢主脈ルートと東海自然歩道の分岐点にあり、晴れた日には富士山(3,776m)や蛭ヶ岳、檜洞丸(1,601m)、大室山(1,588m)といった山々を望むことができます。



姫次

姫次周辺にはカラマツが林となって生育しています。カラマツは、日本の針葉樹の中で唯一、冬にすべての葉を落とす「落葉針葉樹」です。葉は黄色に黄葉し、晴れた日、カラマツに太陽の日差しが当たると金色に輝くように見えます。

姫次の標高は約1,430m。例年だと黄葉は10月下旬から11月上旬です。この

頃から見ごろを迎え、雨のように降った葉が地面を覆い、辺り一面が金色の風景になります。周囲にはカエデ類やシラキなどの紅葉する木々があり、少し姫次から離れて見てみると、金色のカラマツの林と赤く色づいた木々たちの色鮮やかな風景が楽しめます。今年の秋、お天気の良い日に、金色に輝くカラマツの林を観に行ってみませんか?



姫次～袖平山の間から見た姫次



カラマツ

※姫次までは様々なコースがあり、どれも長距離登山になります。気温は低くなっているため、十分な装備と体力、時間に余裕を持った登山計画をお願いいたします。(三瓶)

### ミニコラム 丹沢と箱根は兄弟!? お兄さんはどっち?

神奈川県が誇る2つの山塊「丹沢」と「箱根」はどちらも、プレートと呼ばれる地球を覆う岩の板とプレートが生み出す火山活動によって造られました。いわば2つの山塊はプレートの活動から生まれた子どもたちです。

しかし、丹沢と箱根では山のできた時代や場所には大きな違いがあります。丹沢が生まれたのは、今から約1,500万年前。はるか南で海底火山として誕生しました。その後、プレートの移動と共に本州に衝突したのが約100万年前と言われています。

箱根が誕生したのはその後のことです。丹沢の後を追うようにして、当時島だった伊豆が本州に衝突して伊豆半島になりました。その直後(約65万年前)、現在の箱根で様々や火山が噴火し山となっていきました。

つまり、丹沢は約1,500万歳、箱根は約65万歳。丹沢の方がずっと年上なのです。若い箱根は現在でも活発に活動し大涌谷などでは噴煙を見ることがもできます。

各ビジターセンターでは、こうした地学の歴史も資料とおしてを見ることができますので、是非お立ち寄りください。



噴煙をあげる大涌谷(奥は冠ヶ岳)